

(財)宝塚市文化振興財団

第1回宝塚学検定

検定試験の結果概要

宝塚市文化振興財団は、平成22年3月22日(月・祝)に宝塚ソリオホールにおいて、第1回宝塚学検定を実施しました。

当検定の参加申込者数は190人で、当日参加者数は179人、参加率94%でした。また、第1回宝塚学検定の実施を記念し、市内の高校生13人をモニター受験者として招待。一般の受験者と同じ問題にチャレンジしてもらいました。一般受験者と高校生モニター受験者を合計した総数は192人でした。一般の参加申込者と高校生モニター受験の参加申込者の合計は205人でした。

当検定は、宝塚の自然・歴史・文化などに関する100問の設問を用意し、4択方式で解答。1問1点で100点満点、70点以上を合格とします。

第1回宝塚学検定の合格者(一般受験者のみ)は172人で、合格率96%でした。高校生モニター受験者は合格が2人でした。今回の合格者は全員が初級を取得し、次回の「宝塚学検定」で中級にチャレンジできます。また、受験者全員に検定結果通知を発送。これに加えて合格者には、「認定証」「ピンバッジ」「合格者特典のご案内」を送付します。

■試験結果の概要

一般受験者	申込数	受験者数	合格者数	合格率	平均点	最高得点
結果	190人	179人	172人	96%	88点	100点

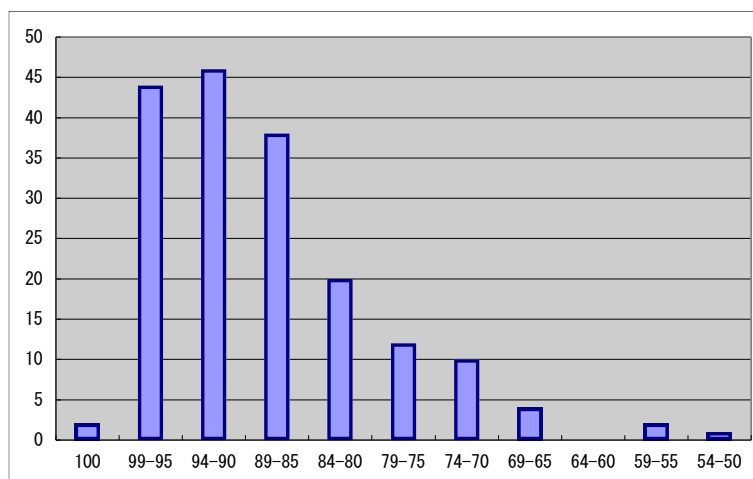
■ 得点分布

第1回検定試験の平均点は88点でした。得点分布は以下の表の通りです。得点最多層は94-90点で46人。80点以上の得点者は合計で150人にのぼり、全体の80%以上を占める結果となりました。

また、100点満点を獲得したのは2人で、95点以上の高得点者が全体の25%強を占めました。

得点層	100	99-95	94-90	89-85	84-80	79-75	74-70	69-65	64-60	59-55	55-51
人数	2	44	46	38	20	12	10	4	0	2	1

得点層の分布グラフ



■ 試験問題の概要

試験問題は、「自然」「人文」「社会」「芸術・文化」の4分野について、右表の通り出題しました。問題の90%が公式テキストからの出題で、残り10%はテキスト外からの出題でした。テキスト外の問題10問のうち、6問が写真画像を見て答える設問でした。

分野	設問数	正答率
自然	17	88%
人文	22	87%
社会	33	92%
芸術・文化	28	84%
平均正答率		88%

問題の分野別難易度では、「社会」の正答率が最も高く、「芸術・文化」の正答率が最も低くなりました。「自然」「人文」の分野は、おおむね平均正答率に近い数値でした。

■高正答率問題と低正答率問題

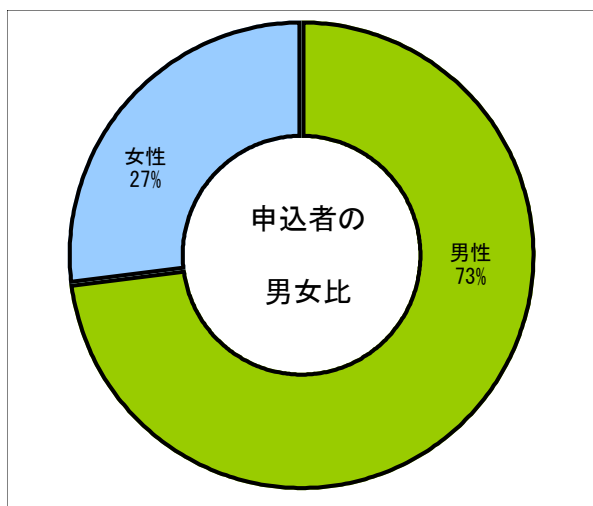
	問題	正答率
易しかった問題	[71] 毎年8月に開催される宝塚観光花火大会の打ち上げ会場は、次のうちどこか。(社会・経済分野) ①武田尾溪谷 ②宝塚ゴルフ倶楽部 ③ <u>武庫川河畔</u> ④千苺貯水池	100%
	[93] 阪急山本駅近くにある「あいあいパーク」は、山本・長尾地区の伝統的な産業である□の振興拠点である。(社会・経済分野) ①絹織物 ② <u>園芸</u> ③漆工芸 ④鋳物	100%
難しかった問題	[22] 明治時代中ごろ、ウィルキンソンが紅葉谷あたりに開業した欧風ホテルは阪神間で最も古いホテルのひとつであったとされる。ホテル名は次のうちどれか。(歴史分野) ①ウィルキンソン・ホテル ②オリエンタル・ホテル ③タカラヅカ・ホテル ④ <u>タンサン・ホテル</u>	50%
	[12] 上の設問[11]の湿原が保存されている場所は次のうちどれか。(自然分野) ① <u>宝塚自然の家</u> ②長谷牡丹園 ③宝塚西谷の森公園 ④すみれが丘中央公園 設問[11]は下記の通り [11] 宝塚市天然記念物に指定されている湿原は次のうちどれか。(自然分野) ①武田尾湿原 ②川下湿原 ③ <u>松尾湿原</u> ④西谷湿原	56%
	[49] 宝塚ベガ・ホールでヘンデルの『メサイア』を全曲演奏する「ベガメサイア」が開催されるのは、次のうちのどの時期か。(芸術分野) ①4月 ②7月 ③10月 ④ <u>12月</u>	57%
	[65] 宝塚歌劇団の男役トップスターで、「永遠の二枚目」と評され、宝塚市名誉市民に選ばれたのは次のうち誰か。 ①鳳蘭 ②天津乙女 ③ <u>春日野八千代</u> ④越路吹雪	60%

* 正答率100%は2問あり、いずれも「社会」分野の問題でした。

* 設問[11]では正答率が82%でしたが、関連する設問[12]では正答率が56%と大幅に下がりました。

■ 申込者のプロフィール

第1回検定試験の申込者は幅広い年齢の方が集まり、最年少は21歳、最高齢は86歳でした。また、男女比率は男性139人、女性51人と男性が多数を占めました。申込者の約73%が宝塚市内在住者で、近隣の川西市、西宮市、神戸



市などからも申し込みがありました。また、愛知や神奈川、東京からの受験申し込みもあり、幅広いエリアの方々から宝塚学検定にご注目いただきました。

